能用田僧松中将および同校々

會銭、十二時五十分同校競、つい 東西所において職員、歴生一同と

らびに異生に無貨帳達のうへ、暴

ことになった

東大問題の中心は質に本勢将領制 かくつて來る

長池田俊吉少將以下風被職員、學」いて陸街研

田模長から教育研究状況につき説

一同に駅間を修選、池

法を概案して流動化せざる以前

学動
断政力化
を抑
能せんと
しつ
常局者
は細心の
注意を以て
その

その通いであるが、何分にもこ れてゐるいである。理由は無論 その図格を引上げても、物図路 重要物質の烟声確保を目標とし ある。もと 〈 緊急物質対策は 率を五分乃至七分引上げたので あるのであるが、

今回その天引 は昭和十五年八月より変施して を聞ることになった。これは世

中央に於いても明鎖に於いても されぬでもない。勿職この戦は 若十インフレ助長の傾向が無念 れ延いて殿山村の傑中工合が淵 次に相背巨額の納給金が交付さ 事情は全く興るけれども、これ ある。ところで米寮での他既林 他やむを得るる場所によって十

の思循環の慣れなきもの

て然らばそ

引上げに限じて温

意を要するのであつて此際新し

整國歌などの各隣負で勤勞せし て、これに奥生、見寛、南年欧

であって見れば一般も餘程の決 つ、他方取時増廃に挺身するの 度の生活水準の切下げを行ひつ にも拠らず一方に於いて相管監 近時一般物質の 見騰による 生

裏町歩を熱助員して新地に仕立

替へによって生じた不用遊休の

否、さなき定に土に親しむ幾日

の少い都督人などにとってはそ で土に親しめる結果とならう。 ことはそれらの人々をして書か て確保される建削となってゐる つて得定収穫は一般震物の供出 つたとが望ましい。それに何よ に來るべき署中休暇の利用とい といふことも大いに定しく、特

の勤労耕作を通じて、麗道の質

用の運動場など凡ゆる空間地一

かになる管の盟山村の後中工合 に一半の理由があるのだ。 時經濟政策としての國家の親心 ある密だがそれでもからる質な

い生活工夫も大いにせねばなら

空閑地の利

とするものである。一種の土も ひえなどの殊豪を耕作栽培せん めて、大豆、栗、そば、きび、

> その 遊休土地が 戦時食機の地 が可成り残されてゐるとは誰し 運動場やゴルフ場といつた土地 地や個質様式の散時機能への切

既に関れ、またそれほど題の本

の指導よつしきを得て、あらゆ

たゞ一つこゝにあると思ふ。 指導する ものの注意すべ きは そこから一種の弊徴が起きる。

部會(金融・

る空間地に秋の収穫が豊かに稔

富然である。又これが耕作に高 酸に一役を買ふといふとは正に もの目解するところであらう。

る日をわれらは待聴するのみで

は営局の無旨は大部分汲却され

引いなったとになる。だから天 てしまふことになる。だから天

用ご聖汗

既以と金融の抱合ひといふ新方 人並その他の方法、機官すれば 大腿だから、そこは企業整備資 が、その観音動脳貿力化しては ある。勿論これだけの目標の金 出される金が、豫策団から見る

原則程度が断買力化する振合で る。從つて結局は生活資金その

家の經勤至上命令に基くもので 成段階を戦ひ抜く戦力の一とし 四格操作観とは別の倫理的意味

といふやうな言葉が値はれてゐ

最近一部に『整備インフレ』

天引貯蓄の示唆するもの

水蔵物に関して天非陰勢の環化のある。無軽耐はこの意味に於って、今般質格を引上げた趣味

自由經济時代の採貸本位閥次至

鑑し今日の決

認ましい。然し乍ら飜って考ふ が込れば、これぞ各人が自秘的

> 第八十二臨時蔵窗に於いてる 作による食糧の増産については

るに都市といはず題村といはず に他の貯器に振り向けることが

が出來上つた。この計選による が協致され、際々その既行計数

に多い。統部經濟の當然なる制 なことゝいはねばならぬ。耕地 行されるといふことは洵に結構 附地利用町鉄が全難に取って登 かへる大規模の、統制あるを

から除外され、自分の食物とし

門的になり過ぎ、現實に即せず

が、その陰極的動勢が除りに事

りも、これらの人々の悪形によ

あらうといふものである。たゞ

首相は第八十二院時職長朔頭の施一

書輪に謝意相、泰首相

もに一石二鳥も三鳥もの効果が

に動員し得る空間地は朝鮮に

上阴解の負荷値命は

|を整て元内勢不賞、現昭南幹別市「甚を無理事官、内勢理寡官参内勢」とのほど更俟ы増より内談御総計・出身本年五十一箇、大正五年東六上のはど更俟ы増より内談御総計・出身本年五十一箇、大正五年東六

の人士中より候補者銓衡中の所、 情報局越親の手許で民間經驗達職

> いて開催、内地側から井野前殿相 報の通り廿八、九の兩日京城にお 發會式並以第一回認識分科質以既 過機同點談會朝鮮委員留に新設さ 東亜經濟態誠何の常散機関である

开野前農相の日常は左の如しをはじめ政府開保官が陽席するが

り午餐後記者團と會見、午後二飛行場治直ちに朝鮮ホテルに入

て際民への慇懃の念さへ湧き出

あり、東京都長官の選任についての役割は時局下河に真大なものが

大達茂雄氏

大東耶共英國の中核たる常國の首

電車東京都設資庫開軍務を収許す ・ 統領より左の如く競争された ・ 陸軍司政長官 大達 茂雄

護を設置して民間人を委嘱・宣原

情報の基本事項に参選協力を求め

れた『大東亜經濟明解東門委員會』

路を與へた

人東距經濟委員會に協力するため

出席、同一時半白珍莊で明く本

たが、今回これとは別個に新たに

高参照を置くこととなり天羽

・ 変がよりたりが、それまでは東京都管が連伸事業となり、が、それまでは東京都管が連伸事業を表したり、が、それまでは東京都管が連伸事業を表したりからません。

情報局參與

开野前農相

民間十氏を決定

※案の東京都 東京都長官に任命すべく内定した 【東京電話】 | 市長、歴史司政長官大達改雄氏を

してこゝに新設足する東京都

U数十級圏に上るので一版さら

こ、言葉を生む根據がある際で

緊急物質対策は

(版內市)

御差遣の山縣侍從武官

「千葉電話」思言遠ひより御意識

野砲、

防空兩校を視察

前九時世分千葉市郊外陸征野殿

を視察、同十一時五十分間被將被 場下心律ケ原における劉宪ならび

大栗次の如く話り半島労務の順化。

は廿三日午前七時暦で約四十日ぶ

折衝運絡中であつた江口総務局長 問題につき疏樂、法制、文化と各 総督府の掛誤水部として統理就本

に同り称格の初東上に附行して

に近難財政などの液質および長器

能管山縣有光中佐は廿三日

簡としてみれば、この光楽ある器「い腕を食ふ者はその配給について

の肌にしょうと意気こんである。

る、運動場も提供して低級暗画

良に山に開起の獣闘をつざけて

幸尺

戦昂た つものがある、しかし、特

知らないくらあだ、一定の分所に

その無自気を何んといつてよいか

陰はぬ鍵で食べてゐ | て����に通るのであらう、い东内 |

降りるであらう、敗てこの際反省

非國民だ、きつと天の間がいまに

地では図つ照い玄米を食ってある。すべきである

の際に、精白米を何 力を傾けてゐる、こ うと、自も勝民も死 算制事情を実破しよ を消滅して消息した

食権の頻遊職保に加腿となってる

したらば、その者は血も退らない

原作も女も老人も起ちむがつて

るとき、その樹白米の駅がどうし

よって配給される食物から取っ白

白襟は増加させず

問題は即刻策略に移さねばならな

東京都長官に

大達茂雄氏内定

なり向力生流洲國國務院法制局長 一を經て昭和七年三月輔汗縣知事と を經て昭和七年三月輔汗縣知事と 一般記官、復興局整理部長、內務省

このほど左の十氏の承許を得、決

定を見るに至ったので、廿三日正

「関することとなり同日午後左

翻展页出觀吉▲日本出版一個會々長田中部吉▲日本出版

設置準備事務を嘱託

「展置し、半岛勞務の衝勢傾割を無成体勿論だが復施方法は遠急

務の基礎である統計資料につい、計量

江口局長歸任談

『陛ちてし止まむ』の意気は感々 らあがて『洪威夏の陣』に原徒の る、そして地方では國民學校も、

地產國心散圖、 死力をつくして で国またゝく夕まで

中等學校もいま物問題

一般でもあく

流して開なり何かの都で米を手に

のる大豆米とか、

難惑を何處かへ

外氷も食べてある。職地では苦願

する將兵も難談を食べながら取っ

てゐる、それが朝鮮に真つ白い御

入れてあるに述びない

【透南廿三日回盟】わが〇〇部隊

抉に殊励

純眞なれ、學生々徒 認識せよ、食糧事情 總督の温情に反省せん

その『反名の道』を敷衍して費ふー じめる思律はそれでよいか。 都将が謝僧紀がる親心をもつて所像を促したこの決酷能能説を、大野野獅鼠長と続力顧盟郡中総務部長に以必死の勢力を傾けて決戒資料的戦に戦闘となつてあるこの秋、 精白氷を食べてある者はそれでよいか、時間に対して練賞でない機関 ついて、その念だ不死分はところを打擲し、馬穆弥職員の数点の確立、散粉の充愧を弾するやう一部の蛇蛇を夏閣した、鰤氷と墳蔵に食小熊歌をは十二日の本座県長竜市の階上で『瀬白糸を食べておる香』の町省を促し、また黒生々徒の時間に耐する継載なるべき藤底に

落伍、斷じて許さず

は感と行の一般無成により、一

を敷いて脳たがら期 れを思ふといまのその機両線がさ が、成の上にむしる 配塞行への中核艦になるのだ、こ の根準がある。 は五時からとび起き をもつとく燃やして、質に時間 極まる決職段階をわれのこの熟き 否喰ふか 喰はれるか、いま 煙囱

みせるといふ意図の失戦艦駅で置、銀行した島間改革の承閣決戦艦駅 血潮と沸る電話でもつて軽優して「総第年限を超過するなど、さぎに 日米食に天罰必至 ることを私は確信してゐる、而し 今半館の展徒は起ちあかってゐ は半局原徒の全際に働くのである 中には含うでない哲学みつける、

て資ふのだり別の玉碎の樹足の忠魂についい の随頭指揮の下、山本元帥、アツ るところにその意間があったので ある、一人の落伍者もなく半局の 変数士に、或は最年の一類に加は の早く原徒が社會に乗り出して生

并秀道中尉(三流縣出身)以下〇 西地區剔抉牒海を箕施しつく 七十、その他各種赤色施設を収滅 が、これに協力せる最店家兵隊選 ○中共院員一千名、鹵獲小統三百 るとゝもに同地區共産年の基幹 力をついけ四月末京でに検猟せ 挺男し地下組織の馴扱に不願の一 名はめらゆる危険を引して欧中 b関府戦感に参加せ しめるなど

を総合するにレニングラード別が した奈気が振つてある、前職報道

力な楔を打込んだ模様だ

のボルホフ、スターラヤ・ルツサ

スムイ、ビニルコロド東北方の各ロブ、クールスク西南百計キロの 部隊の大規模な河沿戦を繰りませ 地區ではしばしば戦撃集略と機動 スモレンスク原南七十キロのキー

して捕虜、肉深品多級をあげ向。 快を開始しその地下組織を廻像 がある。

澤井隊に賞詞

本館を報知した功績に對して十一北安施兵時が令官ならびに〇〇郎「厥である際兵は海井除が滅兵隊としての」なほ河井城はすでに敗匿にわたり「際長より、整議を追議せしめたが、〇〇部 1日代詞を授収した「際長より、 際長よりが聞を授與された殊勝部

に関うたと独定される、以上に関

以後は住民の通行が禁止された。

政道語において盟邦泰國に対

經

濟 濟方統

制

探音

史 餘 一

瀝高

H.

第等の先人選が如何に生きたかの総 事等の先人選が如何に生きたかの総

ウ著 三石巖著郎1.6

٤

語 齊 〇州

ステハニー間によればパレスチナ

パノンに於ける一般性物別単は

深國朝野に多大の成路を與へた 國の發展のため新たなる協力

ト・フライターク少佐位次のやう レデーエヌペー変節記者アルバー

利して反復行はれ攻略とゼルタ振興作戦は説

んに行ばれてをり緊張した空気に

夜でゼルタ保管において敵穴地中海方面一、獨容単位は地中海方面

東岸に進出

烈な財地語源が展開され、 二日をもつて戦撃三年目に突入し 東部院派では依然前級各地で世 ツ東暦に拠出、赤切主力戦地に掘時間にわえる攻勢ののち遂にドネ 部では空中殿と依行して地上部隊 の液門が照開されたが、郷町は長 バラクレヤ、イジユーム中間突出

赤軍主力陣地に獨軍の强力な楔

穏隊の赤塔補給銀寸新作職が開帯ルホブ 地區では 獨国戦災の が出来が、地區では 獨国戦災の

ツ藤東工業地帯にも日に夜を織機隊との停中戦で十九級を降臨 機隊との停中戦で十九級を降臨

敵艦船團を痛爆

憲空電車郷野総際は廿日後ビゼル へた、現在までのところ監具の能にベルリン廿二日同盟』 弾力なる 一五千トンに猛爆を加へ大武尉を娘 獨空軍、ビゼルタ强襲 細は判明しないが損傷暗船のうち 音像はもつと大きいかも知 におしてゐたから獨空軍の歌 |日间盟] 脱統大本

ない。 ない、シリヤに於てな問題の概述は経済を終す。 方に於ける延囲の概述は経済を終す。 は、シリヤ、レバノン、バレステナ地

同地方の首目フィルザパツトで 属征制医のため直ちに恒隊を出助

した 旨 取ねて所信を

泰國革命記念

石橋

信著國防

國家の法律問言語の

社ドンモヤイ 三/ 陽ケ設圏内翅市京東 六七九五二京東區口登撮

西

洋

近代

戰史

ツの兵學 上

價一・九〇 倒・九〇 **菊池麟平著** 交回推區

武陵した暴徒は南方に向け進興 順復が粉盤、小統治よび機関銃で

增田 米治著 重 臨 荒木時次編譯 戰 吐

方時獨定

| 産業武士道(g: <0 | 方民族の婚姻(g: <0 | 時獨逸法令集 (g< ⋅0 | 時獨逸法令集 (g< ⋅0 | 世級 (g) ⋅0 |

タ

れば南部イランにおいて最近欧如

ヘラン特派員の報するところによ ンドン來電、デーリーメール紙テ

官邸に東條首相を訪問、ピブン

日泰國大師ば廿二日午後五時 達することとなり、デイレック 逐し、東係首相宛メツセージを

【イスタンプール廿三日同盟】ロ

南部イランに騒擾

野前朝護人を関土的護済人に切換へとが日本經済人の形成地を接入の形成の形成

特別な機関知謝や理解力を

ける正年の地中海岸集結に連れて 「ローマ特雷廿二日發」西阿にお

迫露骨化 英の西亞壓

一され、ズレバーンでは午後八時华

愛に加へ、羊毛の強制領収が開始

させたといはれる

【バンコツク廿三日同盟】祭曜 の國祭日である第十一回革命記

> 坂部護 伊藤政之助著

出撃前のひととさ=海燕とたはむれる海麓第二 た寸土を鍛み門門が演ぜられ時に一臓家壁二隻のほか酸脱入隻、三萬一三隻は沈波、他は長期間使用不能 軍としてイタリーに進駐せしめたと傳へらる 【チューリツヒ特電廿二日發】 イツは最近○個師○○萬の大軍を新たに本國より繰り出し增援

炭田罷業中

によって町郷南海の野けた顕常をネルソンはお二日今回の瀬田罷繁

罷製は 又も呆須なく終了 するに復業する ことになり米國の 炭坑

米國の炭坑

この日バンコックでは早朝から

次大戦を勝ち扱く決職を示した

の廿三日ピプン首相は午前八時か 各地で盛大に暴行されるが第

本經算

(標度)常雄田 高高 瀬五

所で朝市が開かれ市民の群に履

前線に在りし長官羅照岡本は 若き日の元帥と母堂――清閑寺像

山本元帥の遺

報道部近藤良信

午後はプラマン競技場で

マルル

戦車競走、馬鶴競技が行はれ、

提唱により國民に奬威してゐる

工業品・機製品の展示的などの たカオデン公園ではピブン首相

| 革も行はれてある。革命記念

鳥犯博く

と發表 米損害甚大 タなどの反脳軸陰船関を大製理製

楽を中止するに決定した た官イツキーズとの前後二時間 ントン來院=米國蜒山勢崛起 ゼジョン・ルイスは廿二日内

形板高が抗菌状態にあつたため米 は廿一日ジョン・ルイスの復業 「プエノスアイレス廿二日間盟」 ないなくなった

関を見へた複様で戦時生配局長官と協定に到議能数差加利夫はすべて一関の軍器生命に独出以上認識な打一ジョン・ルイスとの意見の結果新 れば廿二日内粉長質イツキ

十二日同盟】ワシントン來電に ジョン・ルイスとの商見の結果新



の市中行進などが行はれ記念行

高潮に達する

はじめ呼物のユワチョン(青年)

ゴワナリ(女子常年圏)男女郎

を解明印度の實相

長大谷竹次郎▲毎日新聞社會長長正力松太郎▲松竹桃式會社內 爾製局参與仰付いる(各地) 空路入城 総裁、前田総務會長、大尉國務相部を訪問陛上認数室において阿部 するとくもにその理解協力を求 開することくなったがわが政界 後の下に活激な印度郷立廻助念 るため廿三日午後一時半級政密本 刀層に對しても印度の質相を解 「東京徳話」スパス・チャンドラ

臨み阿部級裁以下各種員ら四日へたのち同二時から時間懇談 など首脳幹部と自見和々思談を 政會を訪問 2 格本日京 館文博

海 学 金 大井 英雄

十海三野 英雄

歴軍少務 **要井** 忠 温 を那事運動産常時の感逝

戰支 陣那 種愛

伊風納村富守横 大 地間言上田 溝 佛 十系元常友正 次 進郎平三滩恒史 郞

尼崎油生火 京主人的表示 等) 廿四日京成螺旋ヶ興頭の 等) 廿四日京成螺旋ヶ興頭の 等) 廿四日京成螺旋ヶ興頭の 時々で隔城の第三 2~4378年一民国にわたり新印度建設へ燃料を振び一同に多大の監理設へ燃料を振び一同に多大の監理 演を試み約二時間にわたり新 (方面へ出張中の處せ四日) (原碑氏(柳韓洋行社長))

七四 海軍病院船·浜本浩

武運に寄す 蘇随 大佛次郎 大佛次郎 大佛次郎

學生諸君よ航空隊へ! 正安真臣 高杉賀 瀬本屋 五和與

會談座 松向北高

撒布資金吸集

【別元龍四】大城街では今回職行 | 交給による生活効能物も他別職者 | 本公和、窓々七月一日より質能す」並参問質者に質諾するのである。 | 並行してゐたものを越密的に死て、する | 財幣 に 新 方文 | つては上端の場合のみならず現金 | 閉鎖においても眺合を以ってこれ | 宮紅に質長し、繊髄質紅はこれを | しては微微細合がそれぞれ切符を | なほご場は実神に決定。

満洲銅の委託精錬 を行ふべく別解側と戦闘を進めて | に向び脳繁府皆局と折倒するこ 鮮満間に諒解成立

である。また貿易管理と問答

【新光二十二百 回题 漢語國 鄉

あたが原則的原際に到途、源入する

になった

ほど諸般の郷廟を完了したので、

しれを取行するには路蛇卧と

ル至七月上可經洋耶爾然官が京城 - 新乳の逝か登版に各頭する目的の が至七月上可經洋耶爾然官が京城 - 新乳の逝か登版に各頭する目的の 松上機、モーター駅と決定、これ 織新會創立 廿六日初總會

る四月廿 日砂尼した日本 脈釣っ 横のものであるが御節な日メー 年間黒鉛の大貨節を目指して、法一ごとになつた 牛島黑鉛の増産 採鑛施設の完備へ

川郡守以下の出迎へをうけて開聖。四十三分藩列軍で來開、郴府政、嘉

の面の田種状況を極分後、自動車でのの野川が況を耐緩、更に南面、西側の野川が況を耐緩、更に南面、西

一般内唯一の大型漫形所たる釜山明一型隣に至り、郷川部守から管内の一 政課長以下を禁同廿三日午前九時【明城電話】第田塵林局長は崖徹

収頼であった、 收職は五日から店。 る方法として道路局が優勢なセケ ・ 東京の第年は管無といふ好」と新しい知識と興貸投稿を生入す

れら現地の意見や施策を綜合すれ

組建造能力の飛躍的頃礁をはかる

公定價一斤 八十五圓

『白い版を』などとは如何なる

個人においては金額が出せさるべき に解説これは資金の放出であると

本府で統制事務管掌

熊金井工獎株式會社 (京城南 金井工業創立總會

習性にまでなつてゐ るものを打破するこ

新選州 土山 衆牛に遊船向ふとごろあり

野治畑る赤き福料の郷かな「日本雑誌」七月廿日(火)郷切」→「日本雑誌」七月廿日(火)郷切っていた。

◆ 的種積 利量 ラクビ

後期 三國商會株式

大原證

黑河

(3)

朝鮮智樂協會、松力聯盟の後

來月には對切 してゐたが、

文化だより 『急降下爆撃機』等を移入

記

名餘十六拔選の組各・花・雪・月 **演公回**二 廿五 董夜 二回 四 日 間 三日 19 如國水縣出出京東的小天陸(維置)的花式 市山东花式上韓國影響城國管政司見里 支賽即司國春夏鈴菜京月會在常良神。 世里子子在子子里子在苏北子子子子

廿四日 封切 京日文化映画 朝日映圖 小原のでは、一般のでは、 • **蒙說代** ら石城死守 鼎 競龜士尾莊

元蘇六昭和周人年四日

カルウェ

9

座

談事質

[核吉] 即田

のを競技所に於て管部、これによ

ることである。この根本的な為へ

の定期公演會

開開保は勿識・全物四政策をして

色なことを目的とした内外地に例

の各案所を合む一大総合実施をと開せて図出更生金庫、変易標

みぬ特異な機構でありに格で

物質管理の開意はに版時金融

べく新いる方領をとりつくある 收しもつて成力境強にふり向くる

備を相談高度で質却したものな職金をうけるものまたは生産股

『脚類像にも | 「確当において石油現實法を派定「慰慰存者成熟」、頭にこれを継続「自動車に対しては違が、涨酸に資しては感傷局が、以下へ の東臨時箱を職場するため男八十 は朝鮮石油域問題宣音はより「嬰 治が」般暗観に對しては感傷局が縁箱金剛派、男下の燃料下側に纏み破がは右山 | ることになってあるが、この内容| 本部度の世版により徒奏石油の配

決定し故職の引替販資制度を確立 した感情所は、廿三日附を以て故

カーバイド包装容器の適迫に對威

してはならぬことをする場合にどが辿用し、せればならぬこを

長開城視察

出出路、脚相野問事項『到下の「郷笛を願行したことな注目される」東原殿部物の生観散館的力の境景。ン連連の採織施設を完帥せしめる「映留方法を吸められる線合的通貨」くき派休施設を満洲國内に派入し、よる派休施蘭を観り挙げ、二首下行線出海、番見安、千石興太 勝進便料とを別極に決定してゐた」は副館の金融繁要物によって生ぎ「るに至ったが、近く金山休隆上にて深起海、番見安、千石興太 勝進便料とを別極に決定してゐた」は副館の金融繁要物によって生ぎ「るに至ったが、近く金山休隆上に 滿洲國に導入

でなかんづく従來無機質肥料と何 省原家通り異説なく可決智申した を中心に協議で逃げた結果、腱林

要は出席・農相路間事項『現下の即、矢崎総治の賭氏以下十一名の

遙繭増産進軍器5

学院人養協家は四千四百斤、う **

丁五枚以上を側背し約三階が半球

桑肥料にも決戦調

陋習を打破して新技術の注入

科殿別肥料配給割留を決定すべき 題林計量委員會肥料配給開整部會

月以降十二月まで)の遊

給側當に関したるべき方塚如何

金鍍遊休施設

るに至つたが、近く金山休艇止に

第

順調特温員記】順期なる頻温と好條件に思まれて本年度粉縠の作材は昨年の不作を歐飛して稀に見 知事以下も出て督勵する各道

(可留物便郵牌三筹

の窓神のが祀られてある金羅南道 念然に唯一つといはれる数の神様

五月十一日から阿十五日にかけて

以下は現地で見版した報告である 上作によって眺路額が至は目標額

盛つて連続。笛の僧付、蕨刈等四級期が一般に押し寄せる誓しい條件の中にあって勝の増脈に政闘する

※大駅作が豫様され既に南、中総方面は盛しい收職と共同販管に最後の暴力を掛けてある、陥費は十

(奈良随語) 伏見宮故順勝王妃師

奈良縣御巡視

殿下には、嬰くも最后麾下の御

に抹、被服などがあ ご生産力を増

傾着係長らを従へさせられて組

地域に勝てないから 振り向けられる数量を地大しよう

総局限りある生産力から一や二にかくて保証され宏定された例的生。あらうか、関や質剤めをする不心。 なウマイ語は飲り聞かないではな

生産力増殖にふり向けるべきなの関や買加は

何か――『物』と『念』との均り、持つてゐたり賦ふ國政であっとの、れた給郷生活者がとの人たちと太である。では國武生活の安定とは、だらうか、不必要に深山の現金を「プつかせてゐる。頭も

間や買溜めは何故起るの所謂軍需景象に譲つて腰に金をダ

いか、にも聞いず國民の一部には

はどういふ方面に消

型を抑へてからねばならない、 とすれば、どうしても三の國民間

廢品利用 斑生 も間に合

深き見情報を御出門、驟井内県下には廿三日年卵十時半御名藤

「御移り遊ばさるくことになり

酸力は増强しなけれ、阻化するうへにどうしても後週し

者は一人も あるまい、

泛しきを優へてゐる

これからの朋拓民の資質向上に一左のやうな注意を使した、

『等しからざる』 状態になるので て月給が二倍になったといふやう

では何故物質が二倍に勝貫したからといっ

四一〇國八%▲被服君四四九國料習一六五三國三一%▲住居貿別五千二百五十九國として▲食

勝利なし

ると一も、一も直接に取力を増大

いならない、生成力

に出來ないところのものである。

過三番町六番地一八の御屋 らせられてゐたが、このほど がせられてひたすら御修業に

を御観察の御念め、廿日午後五

を解決せぬからには國民生活は配

てあるといへよう、流行り言葉で
 も震説の観謝も文句なしに一致し
 る、この版に関しては政府の意識

見しきを強へず等しからざ

図 は外閣者である
この出来ない相談を無地に独立して、第二人とする、本理にしょうとする。本理で、この中には「費月給取りる大工」しょうとすればこそ不必要に金を選び、取の時には「費月給取りる大工」しょうとすればこそ不必要に金を選び、取の時には「費月給取りる大工」しょうとする、英理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。本理にしょうとする。

他人の腹を覗くことは君子の馬す

生計費を捌けてみょう・

この出來ない相談を無理矢理敢行、塔の

次に朝館における内解人像給生活

品を安くかつ均穏させることであ

うか一問題はやはり「金」に綴つ あった。では「金」についてはど 然しこれは『物』についての御奉 質に大きな御奉公になって來る、 はせ迎動もかかる見方からすれば

☆ はませんかつ 対称されることであった 大幅関係のうちで 乗り約~を削撃。 か何とかして自己の生活を誘張しく かいきとることである。 生活必然 自髪を残ったりするからである。 刀打ちの出来ようはずもないのだ 刀は並り出るのだ

生活切詰めの餘地はあら

住居数はこの場合官官であらうが

びかけて貯蓄観に織力既制を開 その一枚は則即の随です 往く人々に『愆欸如何です、

これが官吏以外になると半局人の

出て、この低努消化の赤駄に動物観像図さんだちも一役買つて

一五%▲光熱蛋二九八圆五%▲

三三四國六%▲被殿發八二六國料發一五〇六國二七%▲住居劉

以下十三%、四千國以上十五%、四千國以下十三%、四千國以下十一%、四千國

黎五千四百九十六國として▲食◇四千國以上半島人官吏(賀際出

人被原生の高額を鑑に置いて率である、内地人家庭における協 に同じく半島人家庭の被服型の高 %となつてある、收入の半敷以り 下の家庭では食料費五〇六四三

日が戦る日本女性の意気を耐々

問題をとげた

製行、金融組合、曽社員が街に

朝鮮金融頭所盟の男女

四四%

八國五%▲社會製出國二%▲そ

て來る『金』にようて品物の質り

られてより 引題き 宮城内臭竹寮

終了、何機伽藍しく何雕縣遊ばには三日間にわたる何日程を何

で加して各原は村を駆けて

湖と哲園法を土西に、

問、宮城遙飛、明治神宮、靖

を通じての隠しい内壁一種の間

職房房土造家族を含む扁井、石川の蝦夷にある内地の出版的人及び

出、長野四城の即村に帰城され

聖式を流した。部幣府職職 郷刈びに一ヶ月間撤兵



表である、透った布でスカート 段く、上衣が

ハ原に鋏る農魂 農村中堅百名を初の派遣

証拠に活躍するところに大きい期 道に餓成して闘翔の上は、その部 浴の推進中核版として決職食組場 の爬村中閣岩人が内地の皇國慶民 な今度が初めてで、これら ○して二百年前九時半から孤盛府をが、この《臨村中閣営年練』百名の代表は七月一日京城と勝揃 発行、それより質量效

画の決意も 大玄綱前において甌田農林局長か ら野の除旗を授與される結束式を の解解神宮に参拝、脳協府盟政 らの開拓民選出に拍車をかけるた を帰導盟門するとともに、これか の聖職をふるふ牛島出身の開拓民

時廿分、第一班は同十時京城撃を 題に分れて第二頭は廿三日午後六

國家祭祀たる大祓の儀の趣旨に彼一 | 古はれるが、親方観里では國民籍 | 總省内別の大渡掃を行ひ世日の宮 | 大波神楽唱・修波の殿で観顧な式|| 古日、金賦一螺に大破の像が祟り | 選では大破の後に先立つて廿九日 | 案続成部長主案の下、手水、ແ震 卅日・全鮮に、大祓の儀

既に沈田郡長以下全職資集合、大一・回職根その他により事前に歴し日は午後三時から本形内事務局前一を執り行ふ

原が、に放するやう指導すること

「医放けるを受けしめること
の、行事に関して関する形式に必要
の、行事に関して関する形式に必要
の、行事に関して関する形式に必要
の、行事に関して関する形式に必要
の、形成は動めすれば関う多り迷信
の、行事に関している。

旨に副ふべき現地質情に即しる大赦の機は行はさるも之が る大赦の機は行はさるも之が る大赦の機は行はさるも之が

三、各學校、銀行、會社、工場等 に於ても適切なる方法により費 に於ても適切なる方法により費

五、神社、神嗣その他神事を執りて、神社、神社、神社、神社、神社、神紀を汲び 注連脚を殴らしき娘を改ら とはいるので

總力聯盟が趣旨で實踐を强調

持ち高く、いまこそ前ちもがつ「脚翼機関衛年除は毎年内地に送つ網路所では決議下数点手間の終」とと収力で大・これます希望所に

ことになった、これまで納る氏

照宮成子內親王殿下

麹町御假寓所に御住居 らん格ひを新たにしたが、殿下十萬縣民は盛って皇恩に聞い奉

> 城遙拜、明治師宮、靖頤神社、伊 を辿って闘郷の途につき、途中宮 まで火の錬成をなし、同五日六原)き / で 京城解を出後、五日、 間原神宮に参拝、特に一つてある 整理後、同日午創九時半から本母 てのち京都御所、平安神宮、桃山田原神宮では神域勤労奉仕を็ 着、たゞちに朝鮮神宮に協選奉告 御腹にも参拝、十一日朝京城に闘 大玄関前で解除式を行ふことへな

溯州の沃土に務み、離々しく増蔵 半島拓士を激勵 本府派遣の視察團出發

戦九谷僧羅株式督社の設立を企圖 | 舎吸收される筈である 昨年來失乙に資本金五十萬四の湯 | 津九谷殤蹊株式資社は 心に石川殿の九谷鶯箒と提搬して 陶器製造會社 今秋清津に新設 津九谷婦際株式曾社は新會社に統

全り敷地も既に朱乙金田淵泉附近 テルモニイン 大相撲の名残りを惜しむかのやう

ある高磁士、長石を採用しておそ 材料は道内に無監察に埋破されてに約十萬年の買収交渉が成立し原 **塾である、従って設立戦備中の清** 際勇士はけるも四側所にいつ

ずることが出來ないので、商工省の代替物をる際器製造の需要に應 何の任に借って資本金三百萬國の が派を移駐して道聴が直接指導監 板垣将軍も

電板 追溯 飲取司令官は職官際同位。 ・ 十枚目土俄入りの午後:時中中 機関も大衆席も折重る人の波・一に・京城場所・六日目廿三日は升 勝負毎に怒動の緊握の波、在城部 重から物質ひがついたが成立せず 山、柏戸を打つ乗つをかに見えた 開州山を用出し拍手を浴び、神東 名寄・相模を打つ乗り、これ又小 八方山・殿瀬川を寄切り

宏談市(会) 中野 (会) りゅう (会) の (会)



本三の子供相撲

は折から來城中の大相撲東宮士 数院道場で株舗で主催して壁の名本町三丁目子供相換大質は原年期 九ケ鍼、威陽山等を招き廿三日午 物となってゐるが今年の土後開き れむ子供相撲や背年紅白試合に願











ぜん息神經痛 高血壓 中風 · 國 · 日本高大合資會社 · 東京日本南雲町交叉県角

今津博士の素晴しい研究



问製鋼株式會社







可腦過勞者の必携藥ー

導解**建**事鑑**張** 決**命**百定

住の半部人二萬二千名は挙先歌起

ーク、あれは若い人が着ると綺麗 窪川 マニラの パリン タワ 南方女住の生活を中心として、女の眼から視を女ならではの土地で写道部派遣作家として南方各地を視察して來た女派作家三氏

は至極お粗未

倦いて、頭もべるぐると卷いてしたが、その時はたパサロンを

第、メナドに存在、マニラ 変川裕子氏 = マラ イの西側をジツトラ遠往復 ズマトラの北郷、中郷を視 ボストラの北郷、中郷を視

いば衛生的ですね、節めるもの質

南方の限は衛生的とい

和歌木山

ジャワでは自戦車が洗

文田野 医州山 繼 錦 大ノ森 倭 岩 浴里錦

うなものですね

色は單色で見た感じは綺麗

500

[1]

るところは、カルメンモつく

足でもたくさん金属をはめてキラ

順にのつてゐる細をみ

歩いてゐるやうです、だから、人マ

ニラの町には袖がたくさん落ちて

めて折つてあり、ぶるで関鍵で姿

級は判らないけれど、上流の人は

土地等は粗末なものですよ

水の中に女が坐つてある感じで・

彼つて…上流婦人はこれで顔をか

くしてゐますね、一間位の布で・

五分【寫圖

ンドンのやうに被つて攻勢に跳を

粉まずが、お婆さん戦中は何時も 阿部若い人は納めるなどに 数てゐる女で 製物などにはそれ一

の人は首に間掛けをしてあます ワークの二通りがあつて、上流 パリンタワークとミスパリンタ

窪川 乞食も着てゐまさね、 なくてヘンですね も 溜せてくれましたが、とても 溜せてくれましたが、とても 窓になったって、ほめられまし た、人が盗ったみたいで面白か た、人が盗ったみたいで面白か

うね、平常は洋服を一女の人が、パリンタワークの観を「悪を置ってゐる所をみましたが、「で概レース位でせら」。 るで女王族の うね、マニラでみる楊単に親った「で娶娶の先生等が勢り集って日本」。金をかけてゐない、

が、それだけにやまり女らしいエ 第方の衣服は龍嶽です 失は見えませんね、マライもたり

金をかけてゐない、稽々いゝのと金をかけてゐる間には遺物には 美川。さういふものに、うん

のやうなもの で、前を合は さないでピン 人ゐて、その人が一番になりまし

る、町の中の川でサロンを穿いた つてゐるのね、マンデーをする時 た、向うは足を出すのを失識に思 美川あの福は雨が降ると解

バンツを穿いて來た女の先生が一

選川 向うの女の人が減から

一院さんの語似をして題を耐からか

り島で小庭校の先生の運動会を 見ましたがサロンで貼けるから

ジャワ、バリ島、マライを美川 きよ氏―昭南

右い娘 インドネシア

有明(不職勝ち)九州山三根山(寄り切り)大邱山

し回<footnote>
刻に行はれたが、これに参加

點呼の日當を献金

本魂、アツツ島に於ける王卒勇士 の樋口政央郎氏以下六十餘氏は山 容川地區開展貼呼は本年度は

と、監呼助手数名の手踏金卅九四

で廿三日本社を通じて海軍へ國防

グ月フイリツピンに浦在 阿部 **艶子氏** ―― 約五

にかけ、赤ん坊を抱く時は赤ん坊

に腰かけさせ、荷物も入れるし、 正式の場合は薄いのを一

内地へ届つて來たら省線の中で

に事務打合せのため廿三日朝下間

、
腑へて肚丁の
自婦

情報課題託清水道雄氏は情報局

情報事務打合 [1] 照過清水囑託東上 [1] 照過

T一時辺に西水取河岸 (1) 参加名は常日午

・遠承區間謀局-人道橋る、大商要領は左の通り 周に呼其選添大會を開催 聞く海軍忠願兵側に備へて

足是正を弾して毎月数回これが指し 【仁川】少行も決成調でと緊急を

征け米英撃滅

京城運動場の鐵柵やスタンドも應召

港内の水泳

生徒の田植 京城保育校

道徳を注入道徳を注入

窓の開放しは禁物

(四)

400,004

冰

Tue soil

備

よアツツ魂 心魂に銘ぜ

三日間は禁煙

京日案内

點別にを

配給機構の

名は渺冽の拂底を狙って一備けし四層類腹質繁松本己男金しほか二

風紀取締を强化

水登浦署の方針成

頻發の盗難に備へよ

二金山敦桑▲廿一圆万十號大鳴,三七四保山元成▲一國六十錢商三七四保山元成▲一國六十錢商三七四保山元成▲一國六十錢商

双葉《教習所の土俵開きへ

警察官心取組

『ほゝゝ、あたしは、美々の顕敬

つてある形内の愛徴チフスはその「なほ昨今期チフス観音もぼう」(

なは昨今順チンス患者もほつく

依然こ多い發疹チフス

注意せよ傳染病

第二年の変列 見事に完了 見事に完了

京組

東局(5)二

上開 第四貨物自動車組 門, 七八六番 開 通

日性病

6

月やく

次月一日拍额 戰時債券當簽番號表 (第/四) (备號表中太字、同別、括弧內、劇場等級數金額)

新利紹介記

電アサヒゴム歌會社 第名 第次刊通四人歌音社ビル 第名 第次刊通四人歌音社ビル

8万事报松風

ansou - 建が幅ると、英々の業

出アノオルガン 原城が本地二丁日 風部 の本架層に一万日 風部

専門ノ丸安組へ50024種 古着質点は東にはは、質点が、裏切れ

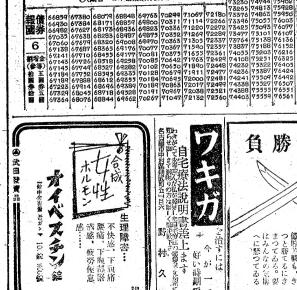
建築修理域

0 07271 84378 1400077 114661 425201 944354 1 6 87296 183951 90069 11500 126411 144398 1 9 87410 88396 19018 11510 12500 124611 144398 1 9 87410 88396 190187 13141 92318 143541 1 8 87466 18683 190187 13141 92318 143541 1 187594 183604 19028 14371 12235 144556 1 187595 1836047 140341 14151 14239 143544 1 187595 187504 141618 14285 144596 1 187673 18718 140541 14151 14285 144596 1 187673 18718 14504 14574 14586 14458 1 187751 18751 14574 14574 14574 14586 1 187751 18755 14774 14774 14781 14781 14781 14856 1 187751 18755 14774 14774 14781 14781 14781 14881 1 187751 187751 187979 14781

界女募集

4852 | 15177 | 28253 5144 | 15471 | 23454 5444 | 15635 | 23704 6066 | 17944 | 24243 7774 | 16222 | 24522 7774 | 16222 | 24522 7774 | 16234 | 24776 8830 | 1674 | 24776 8830 | 1674 | 24776 8830 | 1674 | 24776 1775 | 18775 | 26276 17775 | 18775 | 26276 16618 | 14370 | 26372 11116 | 14677 | 24425 11254 | 20204 | 24432 11455 | 20204 | 26437

一秀 悌吉(籍)









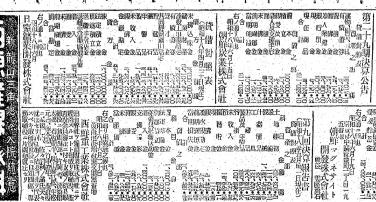
















信者を置いてゐる所と置いてる。

鹽田局長 やおりやらせる

鹽田局長、全面的には金の 森田氏、魔欒の治恵方針と

行けない

ばならん。合ういふ人間のある所 はいゝが、それがなければやって を見てくれる内地人を付けなけれ

は火津人も成けてお前に土地を、とと三金肥がなって貼るだらう。 変ってやるこ気って土地を買ったいふと『豚を働って豚の腹を一 て引上げてナった、今では十何 順かの自分の所有地を作って 鍛造する金肥が東らない』といっ るる、長禄は田舎で小さい一杯 てゐた

部師ジョン・ルイスは内務長官と 炭坑爭議依然續く

福館軍の欧洲上陸作取を豫想する

が出たが、海軍長官ノツクスは『歌の間から第二版線に関する庭問

騒然たる米國の

スポンロニ目問題プワシント

配に既に関する論論で特切る

泰、國民革命成つて十一 米英の策謀畫餅

年

る語を時當 氏治岩川宮

駆きるけた。このタイ関人の歴史を職した関臣革命が成成してから早くも十一年、アジヤ人未然の伊日でチャク!王朝の基準政治を衝逃し、近代的立憲君主政艦を慰立し『メイ関人のダイ関』の獲石を 一九三二年六月廿四日猪鷗パンコツクに邪殺した國民革命は、何ら流血の像を見ることなく、個か四 間に目覚めて米炭県力を完全に駆逐したタイ園は、いまや米炭軽波の征政完後に選進する盟主日本と 民生共死の運命を扱って大真症共衆の繁土職立に一路突進してあるが、この新しき歴史を作った國民 【パンコツグゼ三日同盟】王族の攻制政治、英米の侵略、離儒の軍駆等國内不要の諸関勢に反抗 對日友好關係を促進

政治に對する層頭が弱烈でいこれ

いて開始されたものであっか、努 ない、右交渉は軍職圏の主張に基

事識関係の機関として設置され

証左と解されよう、今回の筆選が 信牛にして早くも曖旋を緩 ルトの労働政策が開躍以來一年 獨機英本土を猛爆

間の強備派を廃してゐるに過ぎな

| だ「解決の曙光が 見えずルーズベ | 各工場が能談を開始したとい

道に徴しても滔々たる米國労働界

ルーズベルト進退 喇難の窮地

一を撃墜 び顕識を出した旨廿二日公衰した 生婦整機隊が廿一日夜英國泉部・

^{那道電車聲朝·開生} 展習演道報軍鮮朝

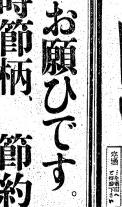
英勢力が大東距から完全に一掃





を訪問約一時間半にはつて芸術 日午前九時廿分内別省に安殿内









質相夫妻、(丁)と※國療滅蛇(上)(情報局機関語)協義 ツキーズと交渉を重ねてあるが未

て進退兩難の開始に陥ってあると の大勢を撤定するに難くないが、 ペルトが識じてゐる對策はイツキー曾胜代表の如きは、 以上の離局に諸面して現在ルーズ

火は電爆器機廿七機を踏墜した旨

内に費に七十一機を選供したこと かねて第一回整合を廿四日午前十

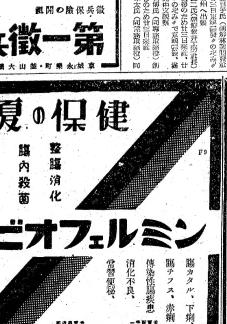
がは、は一の扇目復回にわたりがダルカナル島の米軍陣地を爆撃した甌耳目象でランスアインスは「百回盟」メルボルン米第二四周交平住岡﨑野司令昨は日本航空部隊

獨軍當局、ソ聯聲明を反駁

臓に亡命することに決し亡命

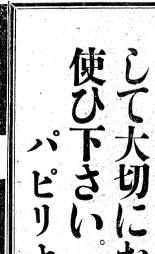
もつて正式競談した に任命すること、なり廿二日附を 合に、また孫殷英中野を同職司を配炳跡上蔣を第廿四集闘軍派 【南京廿二日间盟】 國民政府軍 高温では過級國府解歴に参加

◇認邀韓日子氏(納鮮林茨朋覧加長)廿三日東原研覧をのである。 で新潟州へ出版



姓式 武田長兵衛的店

禁 神戸演生實驗所





料は内地の半分しか何ってゐない 鹽田局長、内地の技術者に ふ三が出來ない・観切に一々国倒 字を強かなければならん、さつい

の百姓は遠郊地郷を傾なうとする のだとぼってある、ところが朝鮮 がだとばってある。ところが朝鮮

金肥を入れたがる、だから肝腎な

でだんく、堆肥さやるやうになっ

收量の差は人の差

小作爭議は跡を絕

企业室長 兵頭 傷 縣田正洪

話を聞いてゐたら何時間でもかく

方でやつたらどいふことを研究し

不在地主の総置は難しい、からい ふ無自覚な運中は一つ土地管理の

事識はなくなつた、やつばり時勢

第してゐる小作人は自一ないが、本質に立派なった。自作瞬創定はいった。

森田氏内地からも立派な

聞いてみると、関館では常機関肥 ひられない、

強へは肥烈の金を皆 あるが、難じでもやらせても質点

の二は立場にかこってあるとい 起してそれだけあげたのだ、

なんかは大きな土地を小作人に開 の傾倒が過か、それで小作委員會 森田正義 中井一夫

命先はフランスときまり四月・

に六邱の高等高通、今の域北一し慶應稜の先生表でしてゐたが。 一般はれて野災に一死て一家で働いてゐる。そこが 野留だが玄米を四石一斗六六

> て來たといふことを聞くともう一酸に内垣でもさうだが小作立法を一 やるに一番血働なのは土地に各種

ト簡報局は強ノ開献二周年記念日 の廿二日長文の賦明を殺災、その 際赤虹の扱語は極めて控へ目に

でにウイローラン機能機工場で 荒鷲が加島を連爆

西部威級において強か廿二時間以一が委嘱されたが、これが協合せを され小山松澤氏ほか卅七名の委員 會選密に関する関査委員會が設置

金を研究、これが具態素を得るた。 議會運營委員會 あす第一回會合 職が行ふことへなつた 岡田職長から挨拶あつてのち本本 真質の運営方法につき個々打合協 赤軍の損害二千萬以上

は强力な反福軸空軍爆爆機線際が >廿二日同盟] 麗麗富嗣 獨空軍 西部戦線で活躍

大臣ご要談

(1)

が、明治

つては大打機で、王朋政治を復活

電配愈日を削に倍時を追想したがら

「國民革命と米英の領跡」につき次の如く贈った

心人物は何といつてもプラヂツ タイ頭で懐腕塚として知られた るタイの動館を察知出來す見る

を試るだらうと述べたと限へられ

の恒衛生産が戦退隊所を示した話

局血壓中軍・マミン

する米英の簡潔な波登した、呼 國際聯盟 勝瀬に郷しタイー九三に年二月廿四日日本の ピルツ劑 化 ピルツ

> 特殊ホルモン補給療法とは?

呈進書明說一

野い中風、半身不随に

最新學說。急所、血壓中個)の故障を止める

二手足のシビれに油斷は禁物!!頭重、不眠、耳鳴、舌もつれ

史聞調査習と くもに 新たた城澤化へ 競足すると共に 明

り、そこでこのほど公喜堂に役員 のつて積級所謂化を加成するとにない。 ので、そこでこのほど公喜堂に役員

の地域は既に買收登記器)を買收

年帯化別成舎を組織して、

『春川電話』来変|虹節レて來た結果、有力なる物館 淨化期成會の陣容强化

に入った結果期成贸の「政容を延 いで同意融資長宮内酸太郎氏から 低、 意長村上九八郎氏の接換に次 能に 私志六十餘名の と談談會を明

び、同湖化期成會は「既能結構な

御遺徳の騒彰へ

概の宣行さど、府内十一ケ所の職「を命ぜられてゐたが版大の協力に「玄葉氏」この改誠に皆ることになめり引きも切られ大戦闘が10年。 急後は本師教別官が後長並添取後、附で現職が主、経解版門級授人長がとり引きも切られ大戦闘が10年。 さきに戦略指定を受けた態が政門。彼り阿太皇戦闘手尉闘氏が廿二日(中華)を、 治客様は開西草人

名が《朝鮮金融版》の響も原々 7本店臨時候券頭出所には朝九時



敬神崇祖の

しては競をみひらいた用数である

の概念であり、主張は砂路郷土である、當地は全國的に水

心身の修養 「選ば数を」 をい下で一家の欒し新聞、雑能 ない下で一家の欒し新聞、雑能 で一家の欒し新聞、雑能 して際郷には実現が其で手共存共榮の精神を體

週間症 {皮膚科・化腹症

牛島農報隊は學る [3]

か | 震法 に改善 | 一般関係 | が疲労もかまはず、田積にいそし |

一媼

見るもの

總て

ψĭ

第一級に出たつもりでやるから、 の地主がみな、か作人になつたつ

公

図刊時新日介日日間朝三向小大◆回日向社同日◆衛昭北東河石町北◆日同帝同 瀬屋新屋が広差が出場了。荷橋属上新四新化新国生間開間直新展展製業新済人 瀬屋新屋を京都の大海路でありません。 全名な豆気の直接を全国生涯を¹6元度で80元東岩県立高温経営製造を直接である。

一概、彫山方面へすくんであるでは、我れの伏兵を恐れたからです。 0 帝國 石

告 切 封 一要情、結婚、幸福 一等多い乙女の胸に都 かに燃える愛の灯に がに燃える愛の灯に がに燃えるでの類に都 がに燃えるでのがに がにがられた彩しい な性の道!これこそ と被質の異色映書で 庭 秀 雄
 子章
 見報

 子少く出口
 子数相友國

 自分を
 担子

 美保財
 財

 子夕村間
 切打週 一系自

小作人と地主の關係

売売充具 | 主要も今 | 明、二次公元元を交安

一京原宝 沼藤高轟原 切封日明場 劇城京場劇塚寶城京 崎田峰 秀起 秀起 動進子子子



街頭國債戦、戦果擧る

行貯金受入係の総口」

貯蓄心の暗線さを反映して

經濟通信放送廢止

來た經濟通信を七月一日から隠止 るのを機画化、創立以来放送して

本識領政部所の新徳足により征來 道の時間に放塞する

うにも考へられるが被長の撤退を

校長に辛島氏饗就任

「江原道院員の赤誠 近原道院が設」同は、金十五 江原道院が設」同は、金十五 一個十億を十三日本的を通じて海田

力を與へる上に於て時宜に適した

實戰即應の

の機甲訓練始る

田積弧労作業を進施して得たもの 應へて一路増配版に延身すべき上 全員が當日午後一時から

BESSELECTED 人是類果

買氣沈滯 後 國志

船員の職能申告

も來る十五日迄 經過しないもの二、申告先居住

けふの市況

式株

軟

诗一日四廿期 || || 別人 **才之** || 海公続連夜畫 ●頭痛・ノーシン 大場響の (全元) (全元) (金元) (金元)



参の節出 【177】

室で第二回マライ郎

旧野婆粉融へ中込め 一門婆粉融へ中込め 一門婆粉は中等學後 一門婆粉は中等學後 一門婆粉は中等學後